

ココが書きたい

Q & A



二次元コードからスマートフォンで質問の内容が見られます！

Q. 文部科学省が「学校図書館図書整備等5か年計画」で推進している小中学校への新聞の複数配備の取り組みについて、香取市の現状と今後の新聞配備への見解は、国が示す配備数を達成しているのは、小学校が15校中13校で87%、中学校が7校中3校で43%です。様々な内容の文章を正確に読み取り、正確に表現することは確かに学力の土台であり、我々が生活していくためになくてはならない力でもあります。そのために新聞等の良質な文

小中学校へ新聞の複数配備を

田代一男議員



二次元コードからスマートフォンで質問の内容や録画が見られます。

A. 香取市では、延べ4万件を超える相談を受けてきました。生活困窮に陥る要因が多様化する中、個々の状況に応じた支援により、利用者の課題解決や自立促進、また、各世帯の生活を支える役割を果たしてきましたと認識しています。

持続できる「生活困窮者自立支援制度」を

田代一男議員

Q. 生活に困窮していたり、その恐れがある人に寄り添い、幅広く支援する「生活困窮者自立支援制度」がスタートして10年を迎えましたが、その果たしてきた役割をどのように捉えているのか。

A. 香取市では、延べ4万件を超える相談を受けてきました。生活困窮に陥る要因が多様化する中、個々の状況に応じた支援により、利用者の課題解決や自立促進、また、各世帯の生活を支える役割を果たしてきましたと認識しています。

Q. 文部科学省が「学校図書館図書整備等5

か年計画」で推進している小中学校への新聞の複数配備の取り組みについて、香取市の現状と今後の新聞配備への見解は、

正確に読み取り、正確に表現することは確かに学力の土台であり、我々が生活していくためになくてはならない力でもあります。そのために新聞等の良質な文

Q. 生活に困窮していたり、その恐れがある人に寄り添い、幅広く支援する「生活困窮者自立支援制度」がスタートして10年を迎えましたが、その果たしてきた役割をどのように捉えているのか。

A. 香取市では、延べ4万件を超える相談を受けてきました。生活困窮に陥る要因が多様化する中、個々の状況に応じた支援により、利用者の課題解決や自立促進、また、各世帯の生活を支える役割を果たしてきましたと認識しています。

Q. 空き地に雑草が繁茂する要望が毎年ある」とから代執行を伴う「空き地条例」が必要だと考えるが、見解は。

A. 空き地等の雑草対策の充実のため、強制的な手法を伴う改善措置を義務付ける条例の調査・研究を行うとともに、指導の強化を含めた対策に取り組んでいます。

Q. 空き地に雑草が繁茂する要望が毎年ある」とから代執行を伴う「空き地条例」が必要だと考えるが、見解は。

A. 空き地等の雑草対策の充実のため、強制的な手法を伴う改善措置を義務付ける条例の調査・研究を行うとともに、指導の強化を含めた対策に取り組んでいます。

Q. 今後の課題をどのように捉えているのか。A. 持病を持つなど、重症化リスクが高い方が経済的な理由で接種を諦めることがないよう、支援策を研究する必要があると想定します。国・県や近隣市町の状況を注視し十分な研究を行っていきます。

Q. 今後の課題をどのように捉えているのか。A. 持病を持つなど、重症化リスクが高い方が経済的な理由で接種を諦めることがないよう、支援策を研究する必要があると想定します。国・県や近隣市町の状況を注視し十分な研究を行っていきます。

Q. 地域福祉を推進する社会福祉協議会（社協）の在り方について

A. 社協は、「第3次基盤強化計画」を策定し、様々な場面で地域福祉の推進に取り組み独自性を發揮していますが、収益の確保が難しく活動継続には行政からの受託事業等が必要であると認識しています。

Q. 地域福祉とRSウイルス対策の充実で安心安全な香取市を

A. 社協では、共同募金や会費収入は重要な財源のため、法人会費の拡充や共同募金運動の拡充により、持続可能な運営体制に取り組んでいくとのこと。香取市では、引き続き事業委託等を行う中で支援していく予定です。

Q. 地域サロン・見守り活動・ボランティア支援の現状を香取市はどうどのように把握し、課題解決に向けてどのように取り組むのか。

A. 社協では、高齢者の積極的な社会参加を目的とした「ふれあい生きサロン」開催のほか、地域サロンの設立支援や継続支援を行っています。課題としては、新たな担

Q. 地域サロン・見守り活動・ボランティア支援の現状を香取市はどうどのように把握し、課題解決に向けてどのように取り組むのか。

A. 社協では、高齢者の積極的な社会参加を目的とした「ふれあい生きサロン」開催のほか、地域サロンの設立支援や継続支援を行っています。課題としては、新たな担

Q. 行政委託の増加に伴い、社協の自主性が損なわれないよう、香取市はどう支援していくのか。

A. 社協では、「第3次基盤強化計画」を策定し、様々な場面で地域福祉の推進に取り組み独自性を発揮していますが、収益の確保が難しく活動継続には行政からの受託事業等が必要であると認識しています。

Q. 会費収入や共同募金の減少が続く中、協議会の財政基盤をどのように安定させしていくのか。

A. 社協では、共同募金や会費収入は重要な財源のため、法人会費の拡充や共同募金運動の拡充により、持続可能な運営体制に取り組んでいくとのこと。香取市では、引き続き事業委託等を行う中で支援していく予定です。

Q. 会費収入や共同募金の減少が続く中、協議会の財政基盤をどのように安定させていくのか。

A. 社協では、共同募金や会費収入は重要な財源のため、法人会費の拡充や共同募金運動の拡充により、持続可能な運営体制に取り組んでいくとのこと。香取市では、引き続き事業委託等を行う中で支援していく予定です。

公平な医療アクセスのために必要なこととは

Q. 妊婦用・高齢者用それぞれのRSウイルスワクチンについて、香取市は有効性と安全性をどのように評価しているのか。

A. 妊婦用・高齢者用とともに臨床試験等により、有効性・安全性は確認されたと認識しています。妊娠用ワクチンは、生後6ヶ月までの乳児の重症化予防の効果があるとされ、定期接種により乳幼児の重症化を予防できると期待しています。高齢者用ワクチンは効果の持続性に関する十分なデータが得られていないため、重症化予防への貢献度合いについて、さらなる情報収集に努めていく方針としています。

Q. 妊婦用・高齢者用それぞれのRSウイルスワクチンについて、香取市は有効性と安全性をどのように評価しているのか。

A. 妊婦用・高齢者用とともに臨床試験等により、有効性・安全性は確認されたと認識しています。妊娠用ワクチンは、生後6ヶ月までの乳児の重症化予防の効果があるとされ、定期接種により乳幼児の重症化を予防できると期待しています。高齢者用ワクチンは効果の持続性に関する十分なデータが得られていないため、重症化予防への貢献度合いについて、さらなる情報収集に努めていく方針としています。

Q. 団体などの関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んでいます。地域包括支援センターとの連携では、当センターの要望を受け生活支援サービス、日常生活自立支援事業「すまつね」、生活支援に関するボランティア利用などを提供しています。

Q. 団体などの関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んでいます。地域包括支援センターとの連携では、当センターの要望を受け生活支援サービス、日常生活自立支援事業「すまつね」、生活支援に関するボランティア利用などを提供しています。

い手の参画や事業継続の財源確保などがあるとのことです。」Jのほかボランティア養成講座等の開催や、企業や社会福祉法人などの地域貢献活動の立ち上げ支援を行なうなど、ボランティアの参加促進に向けた取り組みも行われています。

Q. 行政委託の増加に伴い、社協の自主性が損なわれないよう、香取市はどう支援していくのか。

A. 社協では、「第3次基盤強化計画」を策定し、様々な場面で地域福祉の推進に取り組み独自性を発揮していますが、収益の確保が難しく活動継続には行政からの受託事業等が必要であると認識しています。

Q. 行政委託の増加に伴い、社協の自主性が損なわれないよう、香取市はどう支援していくのか。

A. 社協では、「第3次基盤強化計画」を策定し、様々な場面で地域福祉の推進に取り組み独自性を発揮していますが、収益の確保が難しく活動継続には行政からの受託事業等が必要であると認識しています。

Q. 妊婦用・高齢者用それぞれのRSウイルスワクチンについて、香取市は有効性と安全性をどのように評価しているのか。

A. 妊婦用・高齢者用とともに臨床試験等により、有効性・安全性は確認されたと認識しています。妊娠用ワクチンは、生後6ヶ月までの乳児の重症化予防の効果があるとされ、定期接種により乳幼児の重症化を予防できると期待しています。高齢者用ワクチンは効果の持続性に関する十分なデータが得られていないため、重症化予防への貢献度合いについて、さらなる情報収集に努めていく方針としています。

Q. 妊婦用・高齢者用それぞれのRSウイルスワクチンについて、香取市は有効性と安全性をどのように評価しているのか。

A. 妊婦用・高齢者用とともに臨床試験等により、有効性・安全性は確認されたと認識しています。妊娠用ワクチンは、生後6ヶ月までの乳児の重症化予防の効果があるとされ、定期接種により乳幼児の重症化を予防できると期待しています。高齢者用ワクチンは効果の持続性に関する十分なデータが得られていないため、重症化予防への貢献度合いについて、さらなる情報収集に努めていく方針としています。